



# 両津小だより

〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊 200-1

電話 0259-27-3642

両津小学校

R7.12.4 NO.8



HP用QRコード

ホームページ <http://ryoutsu-es.sado.ed.jp> E-mail [ryoutsu-es@sado.ed.jp](mailto:ryoutsu-es@sado.ed.jp)

## ウインターフェスティバルの新たな価値

校長 後藤 修治

学校から見える大佐渡の山々にも初冠雪が見られ、冬の到来を感じさせてくれます。そんな中でも、子どもたちは、寒さに負けず元気に登校し学校生活を送っています。

先月に実施した学習参観、避難訓練（保護者引き渡し訓練）には、多くの保護者の皆様からお越しいただきましてありがとうございます。子どもたちの学習の様子はいかがでしたでしょうか？学校運営協議会の委員の方にもご案内をし、子どもたちの学習の様子について参観していただきました。「集中して学習に取り組んでいた。」「活発に発言する姿が見られた。」等、お褒めの言葉をたくさんいただきました。

さて、先週、児童会行事「ウインターフェスティバル」が行われました。今年も2年生以上の学級が工夫を凝らした出店を用意してくれました。そして、全校児童が出店を回り、ゲームやクイズなどを楽しみました。当日は、お店の係役として「いらっしゃい！」とお客を呼ぶ大きな声や、「次どこのお店に行く？」とお客として一緒に回る友だちと相談する楽しそうな声など熱気に体育館が包まれました。私も、童心に帰りすべての出店を楽しみました。

今年のウインターフェスティバルには、夷保育園、両津東保育園の年長児もお客さんとして参加してくれました。昨今、幼児教育と学校教育のスムーズな接続、連携が求められています。特に、年長期と小学校1学年の2年間は、学びが連続するよう「架け橋期」として重要視されています。佐渡市では昨年度、幼稚園・保育園と小学校が協働して幼保小の架け橋プログラムを作成しました。今年度からそのプログラ



ムに沿った活動を実施しています。このプログラムの中に、保育園児と小学生の交流活動が位置付けられており、その一環として今回の保育園年長児の参加が実現したわけです。

当日は、1年生が年長児の手を引き出店を回ってくれました。年長児のお世話をする1年生の姿は、お兄さん、お姉さんとしての自覚が見られ頼もしく見えました。また、年長児も始めは緊張している様子でしたが、ゲームを楽しんだり小学生がやさしく声を掛けたりする中で、笑顔がたくさん見られるようになってきました。保育園年長児の参加により、今年度のウインターフェスティバルには、年長児が小学校入学への期待を膨らませ、1年生がお兄さん、お姉さんとして一つ成長し、2～6年生が年長児にも楽しんでもらえる出店を工夫するという新たな価値が追加されました。